



中台中学校

中台だより 第9号



発行 板橋区立中台中学校

発行日 令和8年1月28日

さくら草学びのエリア 中台中学校・中台小学校・若木小学校

*「中台中学校だより」は中台中学校のホームページにも掲載しています。

3学期 スタート！

校長 宮澤 一則

令和8年が始まりました。中台中学校も1月8日(木)に始業式を行い、3学期がスタートしました。冬休み中も、大きな事故やトラブルに巻き込まれる生徒はおらず、元気な姿を見せてくれました。これも、保護者の皆様や地域の方々のおかげと感謝しております。

3学期は、1年の中で最も短い学期で、9年生は49日、7・8年生は52日しかありません。今年度を振り返り、次年度の準備をする大切な時期を迎えます。

9年生は、受験シーズンに突入しました。どの生徒にも、今まで取り組んできた成果を発揮し、夢をつかみ取ってほしいと願っています。8年生は、中台中の中心となって活躍する時期になります。委員会や部活動など、あらゆる場面で他の学年の手本となる姿を見せてほしいものです。7年生は、あと3ヶ月で先輩と呼ばれる立場になります。だいぶ中学生らしくなってきましたが、勉強を頑張り、しっかりした生活を送るように、さらに気を引き締めて生活してほしいです。

3学期から校歌の指揮者と伴奏者が、9年生から8年生に引き継がれます。9年生の指揮者、伴奏者の生徒たちにお礼を言いたいです。そして、8年生の生徒にも、しっかりと引き継いでほしいと願っています。

インフルエンザも再び流行ってきました。どの学年の生徒にも、3学期を健康に過ごしてほしいです。そして、「考動」を意識して、よく考えて行動し、責任をもって生活することを願っています。中台中学校をよくしていくためには、生徒たちの力が必要です。一緒に、もっともっといい学校にしていきましょう！



薬物乱用防止教室！

1月8日(木)の始業式の後で、全校生徒を対象とした薬物乱用防止教室を開催しました。講師は、公益財団法人 麻薬・覚醒剤乱用防止センターの根津さんで、多くの学校で講演をされている方でした。

薬物には、いろいろな種類があり、大麻やマリファナだけではなく、最近ではフェンタニルというものが海外で流行っており、日本にも広がりつつあるそうです。このフェンタニルには、たばこのように加熱して吸引するものがあり、これを使用すると自律神経が麻痺して、全身の力が抜けてしまうそうです。このため、ゾンビたばこなどと呼ばれていますが、昨年の夏には沖縄の中学生が逮捕された事件もあるそうです。

このような危険薬物は、中学生の近くまでやってきており、絶対に関わってはいけないものです。しかし、「痩せられる薬」「しっかり眠れる薬」などと、言葉巧みに中学生に近づいてきます。そして、よくある事例では、中学校の先輩などから勧められ、断れなかったということも多くあるそうです。これについては、講師の根津さんと先輩役の麻生先生が演技で紹介しました。先輩から誘われても、ついて行ったり、話を聞いたりせずに、とにかくその場を離れることが大切だと学びました。

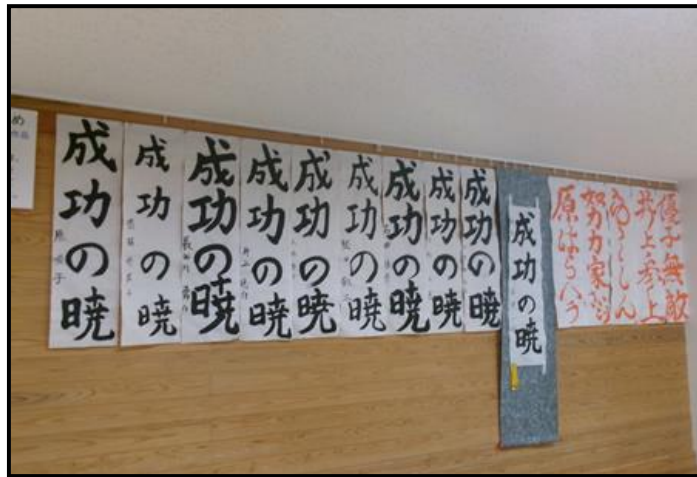


校内書き初め展！

学校公開の際に、ご覧いただいた方もいらっしゃると思いますが、1月8日(木)から1月30日(金)まで、「校内書き初め展」を開催しています。7年生は2階、8年生は3階、9年生は多目的室で展示してありますが、どの作品も力作で、中台中生は、「字がうまい」と思わず感心しました。きっと冬休みに、何回も練習をして、一番の自信作を提出したと思います。深淵の雰囲気を楽しむこともでき、生徒たちの努力の成果を見ることもできました。

今回は、教員の作品も多く参加させていただきました。7年生の書写の時間に、一緒に書かせてもらいましたが、先生たちも思ったよりも字が上手でした。

各学年、金賞となった作品が板橋区の区立中学校作品展に出品されます。板橋区美術館で1月20日(火)から2月3日(火)まで開催されていますので、是非ご覧いただければと思います。



学校保健委員会！

1月17日(土)の学校公開の時に、会議室で学校保健委員会を開催しました。内容は、学校給食に関するもの、健康診断や保健関係の報告、そして校医さんによる講演会でした。

中台中学校の給食で特徴的なことは、いろいろな国や県の郷土料理を取り入れることや季節の行事と関連したものを提供することなどです。家族で食事をする割合が97%と比較的多いのは、よいことだと思います。

保健関係では、中台中の男子生徒は全国平均よりも身長や体重で上回っていることが分かりました。女子は7年生は全国平均を下回りますが、学年が上がるにつれて、全国平均を超えるようになっていました。要受診者の生徒たちの受診率が、もっと高くなるとよいと思いました。

中台中の内科校医である平山先生からは「メディアとゲームと私たち」というテーマでお話いただき、中学生におけるSNSやゲームには、どんなものがあるのか紹介していただき、その利用による身体への影響について教えていただきました。悪影響としては、課金などの金銭的な問題があり、精神的には「うつ病」になる危険性も示唆していただきました。今は、生徒たちの方がスマホ操作に長けているので、我々も知識として知っておく必要を感じました。また、知らず知らずのうちに、精神的に影響を受けているので、自己管理の大切さも教えていただきました。

中台中の歯科校医である古市先生からは「中学生における不正咬合と歯列矯正の考え方」をテーマとして、お話しいただきました。歯や顎における不正咬合の種類や治療方法を学びながら、今まではワイヤーを使ったブリッジによる矯正が主流でしたが、最近ではマウスピースによる矯正もあることを知りました。マウスピースの矯正は、つけ外しが簡単な反面、長時間の着用が必要になるようで、ブリッジやマウスピースの方法でも、それぞれメリットとデメリットがあるそうです。また、マウスピースの矯正では、ファッションを取り入れた「トゥースジュエリー」というものがあり、ネイルアートのように、マウスピースに装飾をすると、歯のデコレートができるそうです。まだ、中台中の生徒には見かけませんが、今後は現れてくるような気がします。

古市先生が、特に強調されていたのは、歯の矯正というと保健の対象外という認識が多いが、未成年の場合は治療扱いとなる場合もあるので、「まずは、歯科医と相談してみてください。」とのことでした。

